

# 「最後」に共感 爆発的人気

## 「平成三十一年銘」貨幣セットが品薄状態

千葉 一良

インターネットでの情報や新聞報道等で既知の方も多いことと思うが、「平成三十一年銘」の通常貨幣をセットに納めた「貨幣セット」が爆発的に売り上げを伸ばしている。

一月四日に発売を開始した「ジャパンコインセット」は、一週間で

在庫切れとなり、「記念日セット」

についても一月下旬には完売した。造幣局では予想外の売れ行きに、ジャパンコインセットを当初販売予定数量八、四〇〇セットから一六、八〇〇セットに、記念日セットについても同様に五、六〇〇セットから一一、二〇〇セットに倍増し

て対応することにした。販売再開は四月下旬となる。

また、「プルーフ貨幣セット」(図1・2参照)についても、一月九日の予約申込開始以降、僅か一週間で発売予定数量を大幅に上回る八二、〇〇〇通の応募があり、発売開始以来初の抽選販売となった。

プルーフ貨幣



図1 平成 31 年銘通常プルーフ貨幣セット【年銘板(有)】

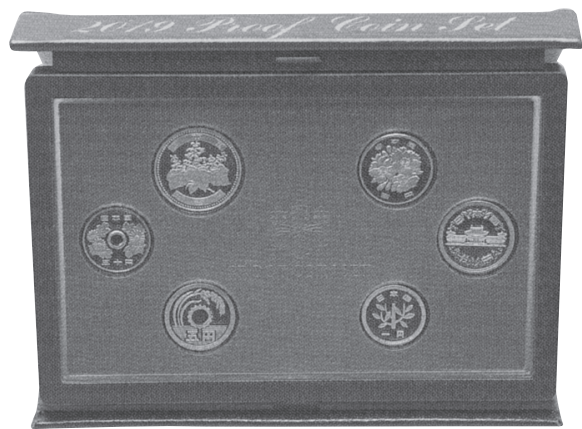


図2 平成 31 年銘通常プルーフ貨幣セット【年銘板(無)】プルーフ貨幣セットの通信販売分の在庫を確保するため造幣局ミントショップでの販売を急遽1月24日に終了した。

セットについても追加生産により対応することとしているが、購入数量をひとり一セットに制限した場合でも、抽選にもれてしまう希望者が出るほどの人気ぶりだ。

「ミントセット」(次頁

図3参照)については、一月三日までの希望者全員に頒布するようだが、オンラインショップでの申込みが希望者殺到により、一時つながりにくい状況となったようだ。なお、ミントセットのみ現在も造幣局ミントショップでの購入が可能だが、まとめ買いは不可とのことである。

※平成三十一年貨幣セットの通信販売の申込みは一月三〇日ですべて終了している。

◎「平成三十一年銘」の貨幣セットの人気がなぜこれほどに高まったのだろうか。

その要点は、

①今上天皇が四月末に退位され、五月一日に新天皇が即位されることが国民に周知されていること。

②新元号への関心とともに、去りゆく「平成」を惜しむ気持ち